

観 点	発行者 2・東書	17・教出	46・帝国	81・山川	116・日文	227・育鵬社	229・学び舎
<p>取扱内容</p> <p>学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等</p>	<p>○ 歴史的分野の目標が達成できるよう取り上げられている学習活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アイヌ民族と琉球民族への対応の相違点を考察したり、時代の特色を理解したりする活動</li> <li>戦後の日本復興の象徴となる出来事を考察したり、時代の特色を理解したりする活動</li> <li>明治時代の政府と民権派の考え方の違いを考察したり、時代の特色を理解したりする活動</li> <li>戦後の平和な世界を築くための取り組みを考察したり、時代の特色を理解したりする活動</li> <li>明治時代の農村の人々の生活の変化を考察したり、時代の特色を理解したりする活動</li> <li>経済や産業、社会や国際関係の変化を考察したり、時代の特色を理解したりする活動</li> <li>明治時代の国際関係の変化について考察したり、時代の特色を理解したりする活動</li> <li>日本国憲法の制定など日本の民主化の進展を考察したり、時代の特色を理解したりする活動</li> <li>明治時代の近代国家建設を急いだ理由を考察したり、時代の特色を理解したりする活動</li> <li>経済大国となった日本が世界に与える影響を考察したり、時代の特色を理解したりする活動</li> <li>明治時代に国境が定められた経緯を考察したり、時代の特色を理解したりする活動</li> <li>戦後の日本の民主化と再建の過程を考察したり、時代の特色を理解したりする活動</li> <li>明治時代の自由民権運動の変化を考察したり、特色を理解したりする活動</li> <li>第二次世界大戦後の日本の国交の変化を考察したり、時代の特色を理解したりする活動</li> </ul>						
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>応仁の乱の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、戦いの様子を描いた複数の時代の資料を比較し、社会の変化について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</li> <li>鎌倉時代の人々の暮らしの学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、絵巻物を中心に複数の資料を比較し、人々の生活の様子について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</li> <li>元禄文化の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、屏風に描かれた二つの装飾画から共通点を見いだして、文化の特色について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</li> <li>日露戦争の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、刺画などの様々な資料を基に日露戦争に至る過程と戦争が与えた影響について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</li> <li>承久の乱の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、複数の資料から読み取ったことかもとに、古代から中世への時代の変化について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</li> <li>江戸幕府による鎖国の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、鎖国を肯定する視点と比較する視点の影響について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</li> <li>近世の統一事業の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、信長、秀吉、家康が実施した生活への影響について話し合い、考えを広げたり深めたりする活動</li> </ul> <p>○ 系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歴史の学び方について学習した後、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについての学習</li> <li>歴史の学び方について学習した後、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについての学習</li> <li>歴史の学び方について学習した後、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについての学習</li> <li>歴史の学び方について学習した後、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについての学習</li> <li>歴史の学び方について学習した後、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについての学習</li> <li>歴史の学び方について学習した後、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについての学習</li> <li>歴史の学び方について学習した後、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについての学習</li> </ul> <p>○ 内容の分量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総ページ数 295 ページ (9%増)</li> <li>総ページ数 298 ページ (14%増)</li> <li>総ページ数 292 ページ (11%増)</li> <li>総ページ数 288 ページ (前回調査なし)</li> <li>総ページ数 317 ページ (16%増)</li> <li>総ページ数 302 ページ (9%増)</li> <li>総ページ数 299 ページ (3%増)</li> </ul>						

観 点	発行者 2・東書	17・教出	46・帝国	81・山川	116・日文	227・育鵬社	229・学び舎
使用上の配慮等	○ 学習意欲を高める工夫						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>江戸時代の最上徳内、近藤重蔵、間宮林蔵らの北方探検の地図を掲載し、その行程を紹介</li> <li>アイヌ文化と儀式や神話、生活の様子などの資料を掲載し、アイヌ文化の展開、文化継承の動きの説明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>江戸時代のペリ一艦隊の函館来航記念碑の写真等を掲載し、函館寄港の際のエピソードを紹介</li> <li>アイヌの人たちの文化などについて、神話の資料を掲載し、アイヌ文化を伝えてきた人々の努力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>明治時代の北海道の開拓と産業発展に係る資料を掲載し、近代化の過程の説明</li> <li>アイヌの人たちの文化などについて、衣食住などの資料を掲載し、独自の文化を築いたことについて説明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>明治時代の札幌の地図などの資料を掲載し、開拓の歴史について考える課題設定</li> <li>アイヌの人たちの歴史と文化について、アイヌ民族の首長などを描いた絵を掲載し、特徴を説明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北方領土に関する条約や地図などの資料を掲載し、第二次世界大戦後の日本と取組の説明</li> <li>アイヌ文化について、儀式や神話、国立アイヌ民族博物館などの資料を掲載し、文化の伝承について説明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北海道に縁のあるクラークを取り上げ、北海道の開拓に関するエピソードを提示</li> <li>アイヌの人たちが行っている貿易に関する資料を掲載し、アイヌの人たちと周辺諸国や地域との関係の提示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開拓使の設置や北海道への移住奨励に関する資料を掲載し、北海道開拓の進展についての説明</li> <li>江戸時代にアイヌの人々が採集した昆布の行方を課題として提示し、近隣諸国との取引についての説明</li> </ul>
	○ 主体的に学習に取り組む工夫						
<ul style="list-style-type: none"> <li>「チェック」で、一単位時間の学習の終わりに基礎事項を確認する活動や、「トライ」で、要約や説明により学習課題を解決する活動を掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「確認」で、一単位時間の学習内容を振り返る活動や、「表現」で、図にしたり、自分の言葉で説明する活動を掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「確認しよう」で、一単位時間の学習を振り返り、大切な事項を確認する活動や「説明しよう」で自分の言葉で説明したりする活動を掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ステップアップ」で、一単位時間の終わりに新たな課題を追究する活動や、「歴史を考えよう」で、学んだことを基に考察する活動を掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「確認」で、一単位時間の学習内容の理解を確認する活動や、「深めよう」で、学習課題の理解を深めるための活動を掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「歴史ビュー」で、事象について多角的なる視点から考察する活動や、「歴史のターニングポイント」で、意見を交換する活動を掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「フォーカス」で、歴史の舞台に焦点を当てて知識を深める活動や、「歴史を体験する」で、学習内容に関する体験活動を掲載</li> </ul>	
○ 使用上の便宜							
<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の使い方について説明するページの設定や、ユニバーサルデザインフォントの使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の使い方について説明するページの設定や、ユニバーサルデザインフォントの使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の使い方について説明するページの設定や、ユニバーサルデザインフォントの使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の使い方について説明するページの設定や、カラーユニバーサルデザインの取り入れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の使い方について説明するページの設定や、ユニバーサルデザインフォントの使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の使い方について説明するページの設定や、カラーバリエーションへの配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の使い方について説明するページの設定や、カラーユニバーサルデザインへの配慮</li> </ul>	
指導上の配慮等	○ 地域素材						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>室町時代や江戸時代のおけるアイヌの交易や、明時代のおけるアイヌの交易や、江戸時代のおけるアイヌの交易や、開拓の歴史</li> <li>北方領土については、明治時代の学習の本文や特設ページ「隣国と向き合うために」において取り扱われている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>室町時代のおけるアイヌの交易や、明時代のおけるアイヌの交易や、江戸時代のおけるアイヌの交易や、開拓の歴史</li> <li>北方領土については、明治時代の学習の本文や特設ページ「隣国と向き合うために」において取り扱われている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>天正時代のおけるアイヌの交易や、江戸時代のおけるアイヌの交易や、開拓の歴史</li> <li>北方領土については、日本の独立と世界の動きや学習の本文や特設ページ「日本の領土確定と近隣諸国」で取り扱われている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>明治時代のおけるアイヌの交易や、江戸時代のおけるアイヌの交易や、開拓の歴史</li> <li>北方領土については、明治時代の学習における本文や特設ページ「日本の領土の変遷」などで取り扱われている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中世のアイヌの交易や、江戸時代のおけるアイヌの交易や、開拓の歴史</li> <li>北方領土については、江戸時代の学習における本文や特設ページ「歴史を掘り下げる」などで取り扱われている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中世のアイヌの交易や、江戸時代のおけるアイヌの交易や、開拓の歴史</li> <li>北方領土については、太平洋戦争の学習の本文や特設ページ「我が国の領土をめぐる問題の歴史」などで取り扱われている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>江戸時代のおけるアイヌの交易や、江戸時代のおけるアイヌの交易や、開拓の歴史</li> <li>北方領土については、日本の独立の学習における本文及びコラムにおいて取り扱われている</li> </ul>

観 点	発行者 2・東書	17・教出	46・帝国	81・山川	116・日文	227・育鵬社	229・学び舎
<p>指導上の配慮等</p>	<p>○ ICTの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「Dマーク」(QRコード)を掲載し、「原子爆弾の投下」の動画や、国立国会図書館などへのリンク、年代の表し方の練習問題などを活用できよう工夫がなされている</li> <li>・「身近な地域の歴史」などにおいて、インターネットを使った検索方法や発信方法を紹介したり、プレゼンテーションソフトを使った発表方法を説明する工夫がなされている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「まなびリンク」(QRコード)を掲載し、文化庁などのリンク集を活用できるよう工夫がなされている</li> <li>・「身近な地域の歴史を調べよう」において、インターネットを使った検索方法やプレゼンテーションソフトを使った発表の仕方を紹介する工夫がなされている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元コード(QRコード)を掲載し、「NHK for school」の動画や、教科書に掲載されているイラストなどを活用できよう工夫がなされている</li> <li>・「歴史の捉え方と調べ方」において、インターネットを使った検索方法を工夫がなされている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次元コード(QRコード)を掲載し、NHK for schoolの動画や、博物館や資料館のホームページなどを活用できよう工夫がなされている</li> <li>・「身近な地域を調べよう」において、インターネットを使った検索方法やプレゼンテーションソフトを使った発表の仕方を紹介する工夫がなされている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「デジタルマーク」(QRコード)を掲載し、「空から見た太平洋戦争後の東京の焼け跡」の動画や、ワークシートなどを活用できよう工夫がなされている</li> <li>・「スキルUP」のコーナーにおいて、インターネットを使った事前調査の方法を紹介されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・QRコードの掲載はない</li> <li>・序章「地域の歴史を調べてみよう①」において、プレゼンテーションソフトを活用した発表方法を紹介する工夫がなされている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・QRコードの掲載はない</li> <li>・歴史を体験する」において、国立歴史民俗博物館のホームページへのリンクの仕方を掲載する工夫がなされている</li> </ul>
	<p>○ 小中連携による指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1章で小学校の学習を振り返る活動を設定したり、小学校で学習した人物や文化財、出来事などを掲載したペーパー「小中連携」が示されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1章で小学校で学習した歴史上の人物などを振り返る活動を設定したり、本文中に登場する人物の中で小学校で学習した人物にマークが付けられている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2部冒頭において小学校で学んだ事柄とつながり、節の冒頭に「タイムトラベル」で小学校の既習事項が取り上げられている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1章で小学校で学習した「歴史を大きく変えた人物」を「人物カード」にまとめられている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1編で小学校の学習を振り返る活動を設定したり、「小中連携」コーナーにおいて、小学校で学んだ人物、文化などを確認できるようにしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・序章で小学校で学習した歴史上の人物が活躍した時代及び関わりのある出来事や文化遺産を振り返る活動が位置付けられている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭の「歴史への案内」において、小学校で学習した歴史上の人物などを振り返る活動が設定されている</li> </ul>

観 点	発行者 2・東書	17・教出	46・帝国	81・山川	116・日文	227・育鵬社	229・学び舎
本市生徒の学習 の状況等	○ 社会的事象の意味や意義について多面的・多角的に考察する力の育成						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>章末にXチャートなど多様なツールを活用し、学習内容を整理させる「まとめの活動」が設定されている</li> <li>グループで協力しながらテーマについて話し合う「みんながチャレンジ」が設定されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>章末に新聞形式などに章の内容を整理する「～時代の特色を考えよう」が設定されている</li> <li>具体的なテーマについて予想する「時代の変化に注目しよう！」が設定されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>章末に各時代の特色を関係図を活用して整理させる「章の振り返り」が設定されている</li> <li>異なる立場から歴史的事象を考察させる「多面的・多角的に考えよう」が設定されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>札幌市などの地域の歴史を様々な角度から歴史的に考える「地域からのアプローチ」が設定されている</li> <li>京都の変化などのテーマについて話し合うページ「歴史を考えよう」が設定されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>章末に時代の特色を表などを用いて整理させる「アクティビティ」が設定されている</li> <li>歴史的な見方・考え方を働かせて「深めようコーナー」が設定されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>章末に各時代がどのような時代であったかについて理由とせしに話し合わせる質問が設定されている</li> <li>歴史的事象について複数の考えから「歴史のターニングポイント」が設定されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>章末に各時代の特色などについて前時代との共通点や相違点をまとめる設問が設定されている</li> <li>側注において、歴史に関わる事象について複数の説があることを解説が行われている</li> </ul>
	○ 複数の資料から適切な資料を選択したり、資料を関連付けて情報を読み取ったりする力の育成						
<ul style="list-style-type: none"> <li>グラフの変化の読み取り方の説明する「スキル・アップ」のコーナーや、各時代の特徴的な資料から人々の読み取りさせ「資料から見」が設定されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真などの資料の読み解き方を説明する「歴史の技」のコーナーが設定されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>系図や絵巻物などの見方の説明する「技能がく」のコーナーが設定されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真やグラフ、コラムなどに关连して考える発問や、視点を具体的に示されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>系図の見方などを説明する「スキルUP」のコーナーを設定するなどの工夫がなされている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料を比較するよう促すキャラクターの位置付けなどの工夫がなされている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭の「歴史への案内」において、出来事や文化を調べる際のまとめ方が例示されている</li> </ul>	
○ 既得の知識を関連付けて学習内容を深く理解し、概念などに関する知識として獲得するための配慮							
<ul style="list-style-type: none"> <li>各見開きに単位の学習内容の整理とまとめを行う「チェック」のコーナーと「トライ」のコーナーが設定されている</li> <li>章末に学習した用語を用いて単元の課題解決を行う「基礎・本行のまとめ」が設定されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各見開きに単位の学習内容の整理とまとめを行う「確認」のコーナーと「表現」のコーナーが設定されている</li> <li>章末に学習した用語を用いて説明する問題「○について説明しよう。」が設定されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各見開きに単位の学習内容の整理とまとめを行う「確認しよう」のコーナーと「説明しよう」のコーナーが設定されている</li> <li>章末に資料を用いて「章の問い」に対する説明を行う「章の学習を振り返ろう」が設定されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各見開きに単位の学習内容を重たい要語句を用いて説明する「ステップアップ」が設定されている</li> <li>章末に表などに学習内容を整理し、各時代の特色を捉える「まとめ」が設定されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各見開きに単位の学習内容について説明する「確認」のコーナーが設定されている</li> <li>章末に日本とつなぐ深い関係の人物を説明する「学習の整理と活用」が設定されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各見開きに単位の学習内容を説明する「学習のまとめ」のコーナーが設定されている</li> <li>章末にその時代でも重要な人物を説明する問題が設定されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各見開きに単位の学習内容を確認するコーナー等はない</li> <li>章末の「部の学習のまとめ」など、各時代の特色などを説明する問題が設定されている</li> </ul>	
その他							